

表 10.7 魚卵・稚仔魚の分布状況からみた干潟、藻場等の利用状況

		卵・稚仔の分布からみた干潟・藻場等の利用状況
環境省実施	全ての魚卵 (平成 16 年)	産卵場：三浦半島沿岸の岩礁性藻場・浅場、盤洲干潟、富津干潟、三番瀬など湾奥部の干潟周辺
	全ての稚仔魚 (平成 16 年)	成育場：三浦半島沿岸の岩礁性藻場・浅場、三番瀬など湾奥部の干潟周辺、内房沿岸部の浅場
国土技術 政策総合 研究所実 施	スズキ	内湾部（富津岬より北の水域。以下同様）で卵・稚仔が採集されている。
	イシガレイ	三番瀬周辺、盤洲干潟周辺で個体数が多い。
	マコガレイ	内湾部で稚仔が採集されており、アクアラインより南の水域で出現が多い。
	ヒラメ	アクアラインより南の水域で稚仔が採集されている。
	マダイ	アクアラインより南の水域で稚仔が採集されている。
	メバル	内湾部で稚仔が採集されており、アクアラインより南の水域で出現が多い。
	アサリ	調査対象とされていない。
	バカガイ	調査対象とされていない。

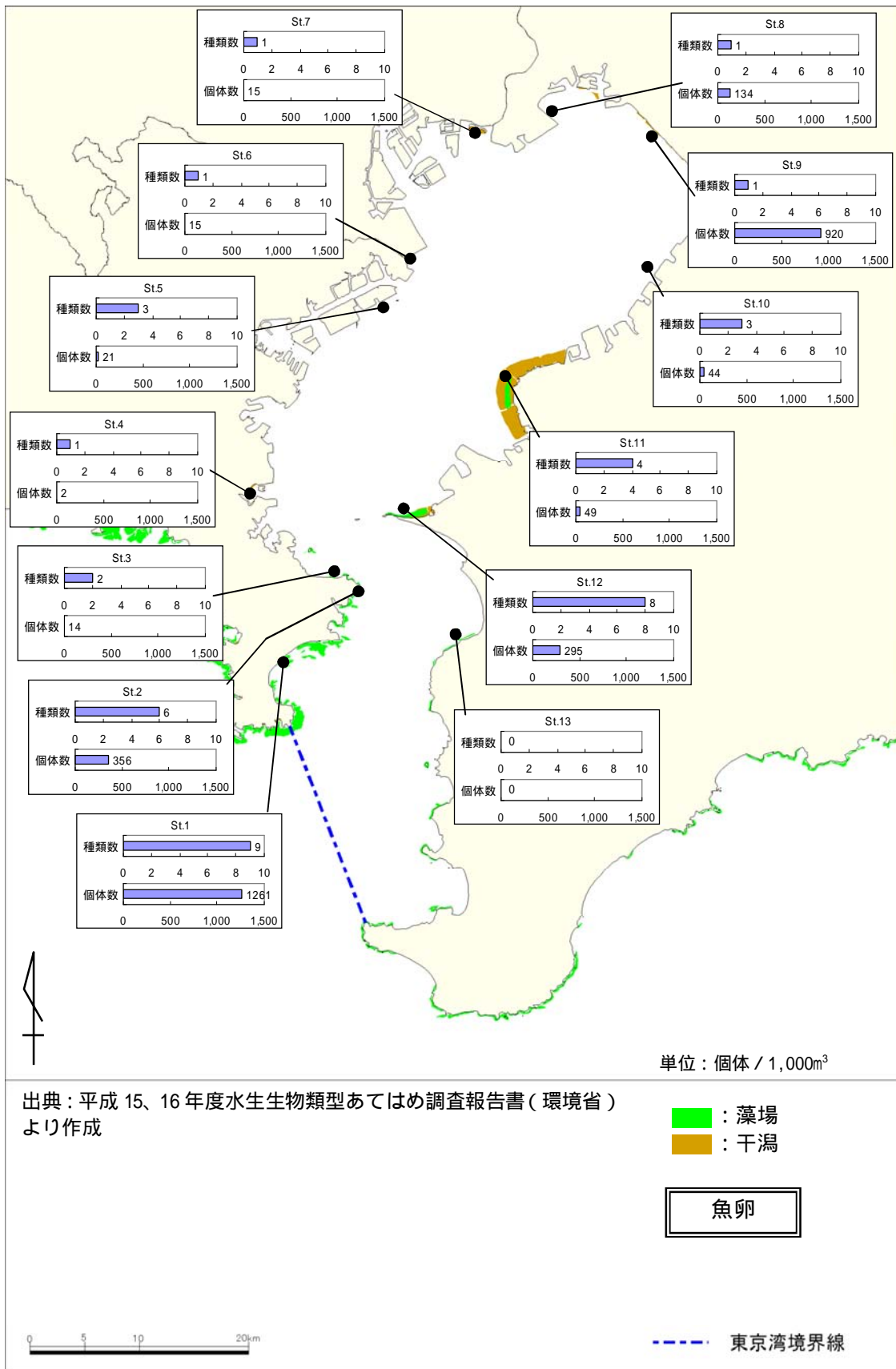


図 10.11(1) 東京湾における地点別魚卵及び稚仔魚出現状況(平成 16 年 3 月)

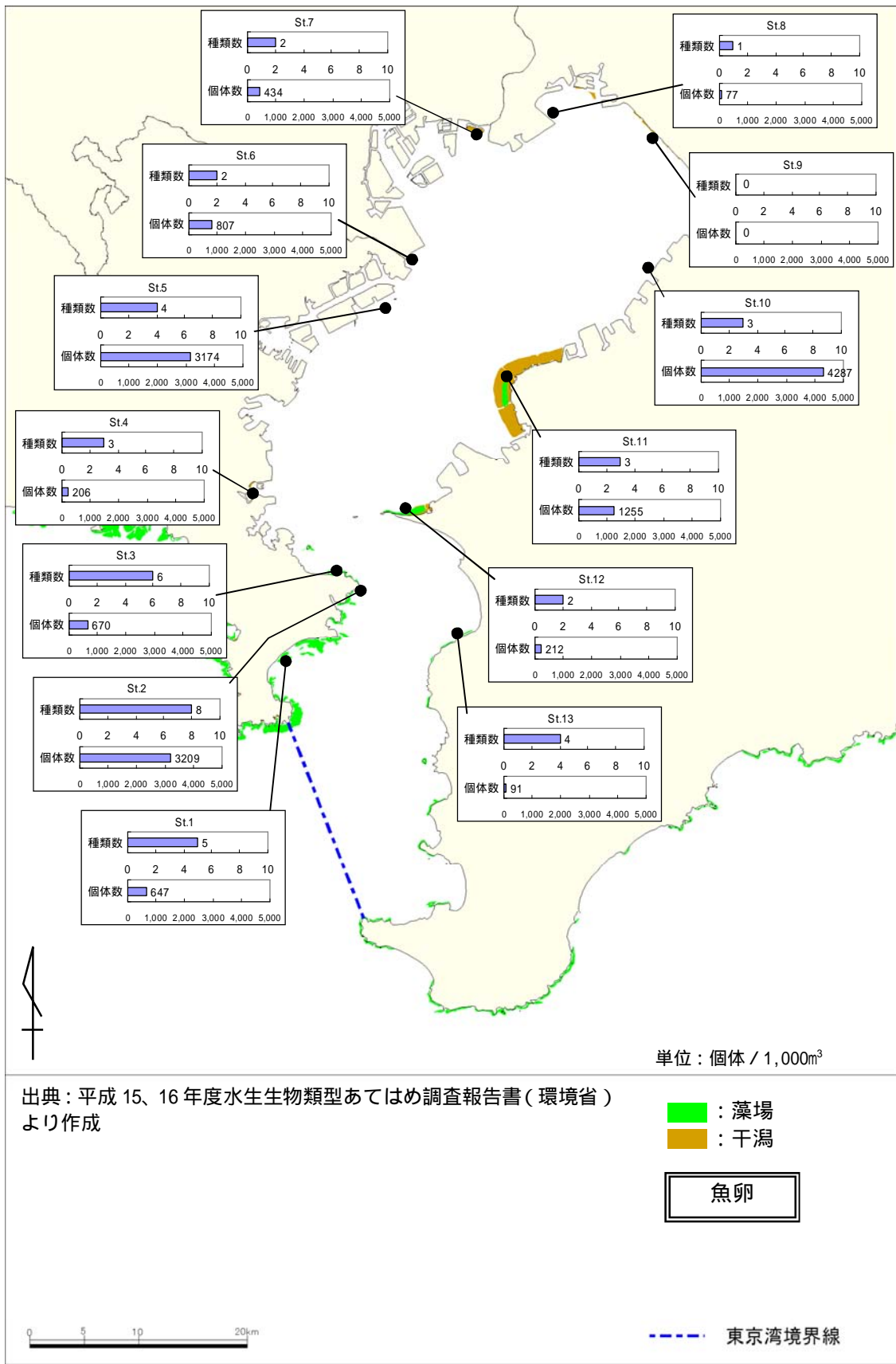


図 10.11(2) 東京湾における地点別魚卵及び稚仔魚出現状況（平成 16 年 10 月）

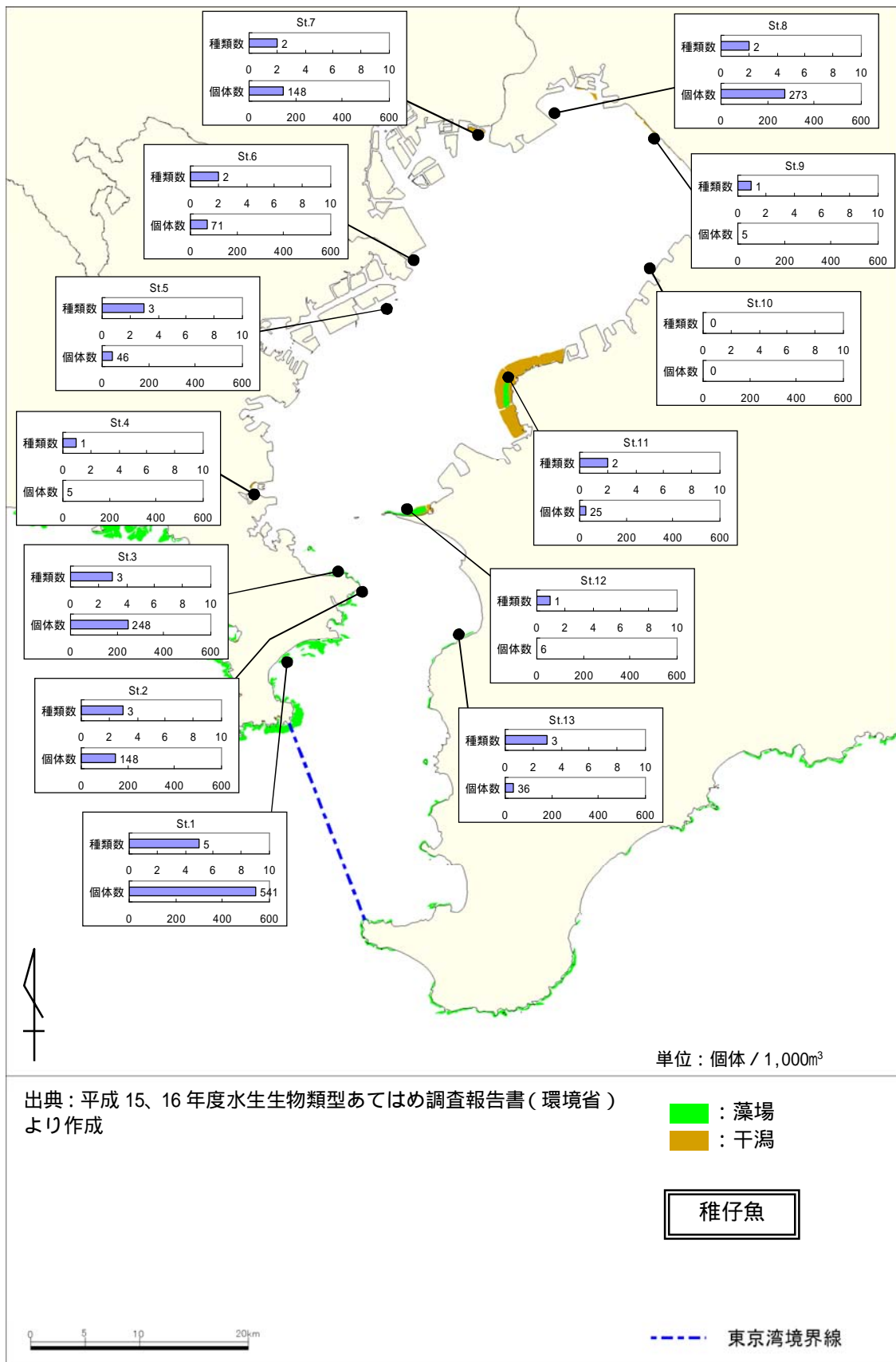


図 10.11(3) 東京湾における地点別魚卵及び稚仔魚出現状況（平成 16 年 3 月）

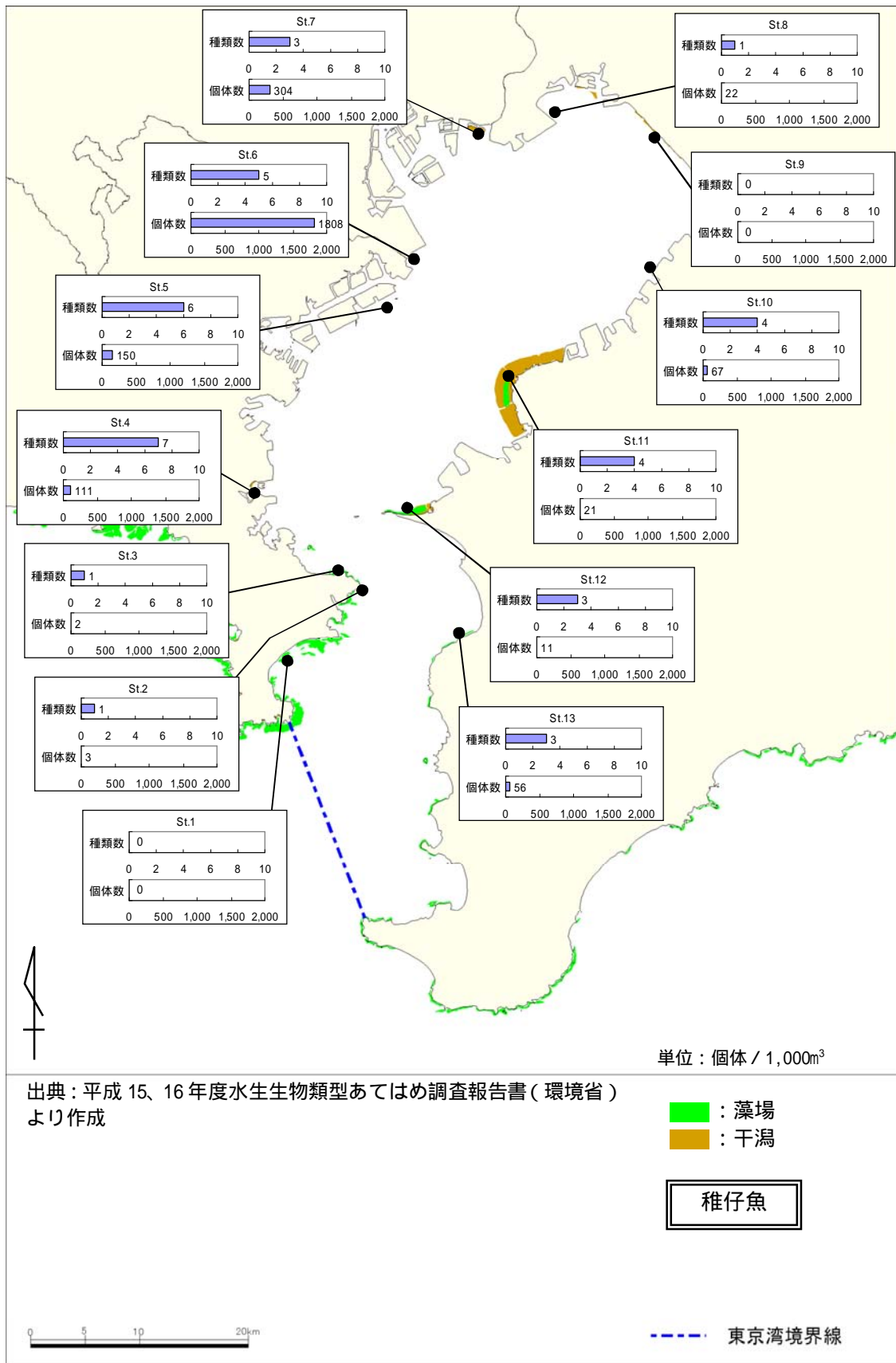
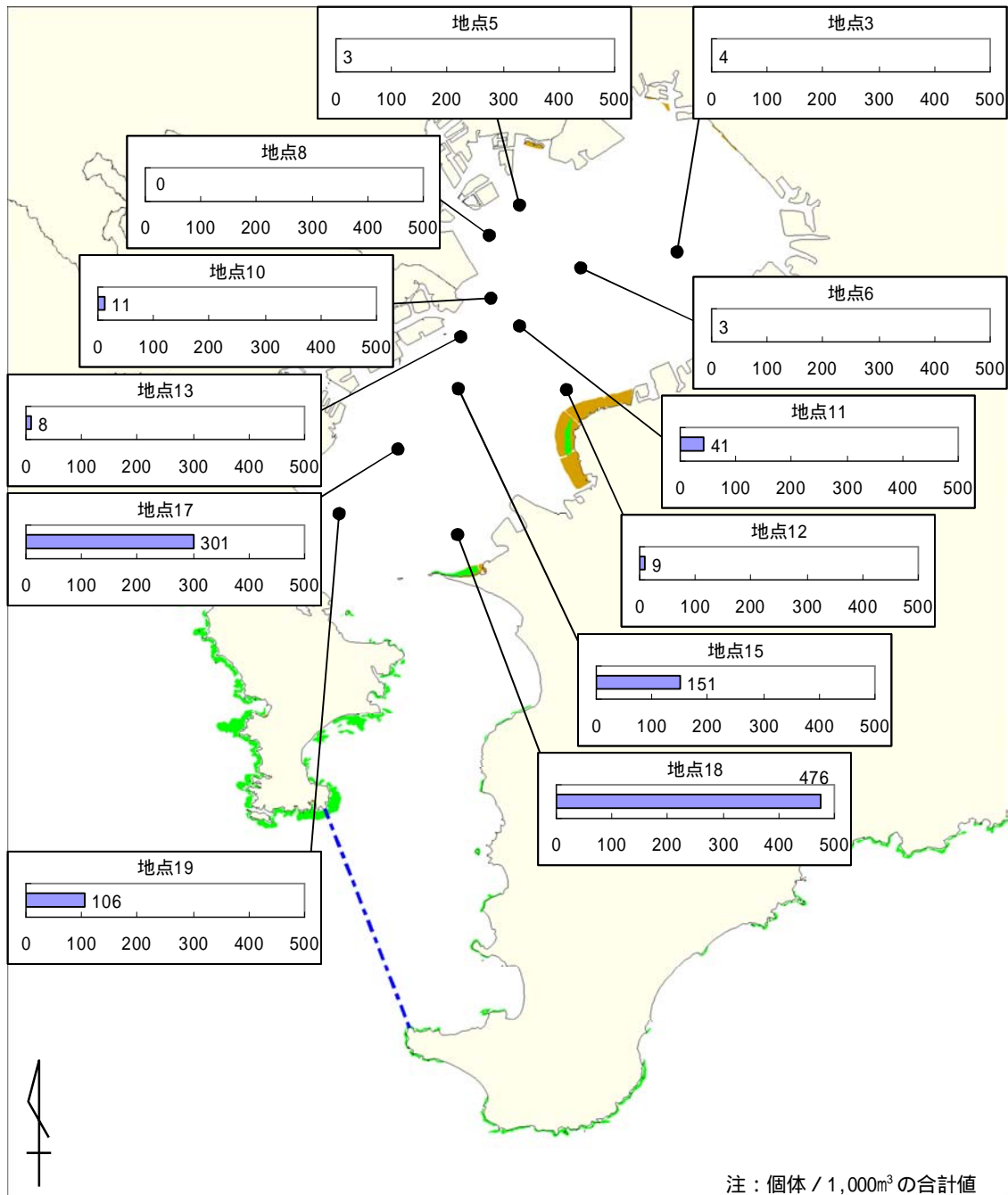


図 10.11(4) 東京湾における地点別魚卵及び稚仔魚出現状況（平成 16 年 10 月）



注：個体 / 1,000m³ の合計値

出典：国土技術政策総合研究所（2005）：港湾環境情報より作成
 ・数値は平成 14 年 7 月から平成 15 年 6 月の各月調査結果の合計値。

■：藻場
 ■：干潟

魚卵

注：本調査は、浮遊している卵及び稚仔魚を調査対象としており、
 浮遊期の卵及び稚仔魚は流れにより移送される。

0 5 10 20km

--- 東京湾境界線

図 10 . 11 (5) 東京湾における地点別魚卵及び稚仔魚出現状況（スズキ属）

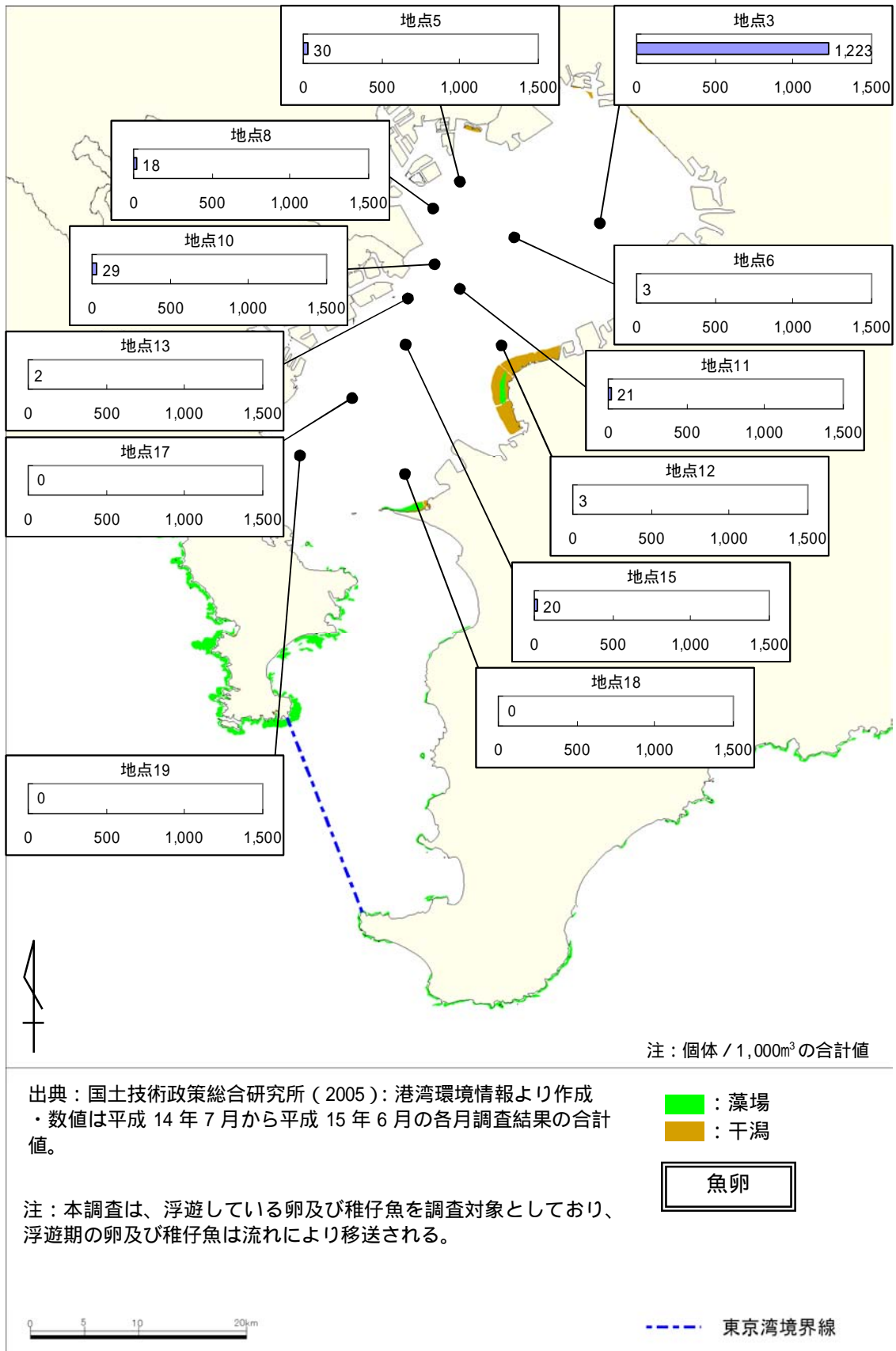


図 10 . 11 (6) 東京湾における地点別魚卵及び稚仔魚出現状況 (カレイ科)

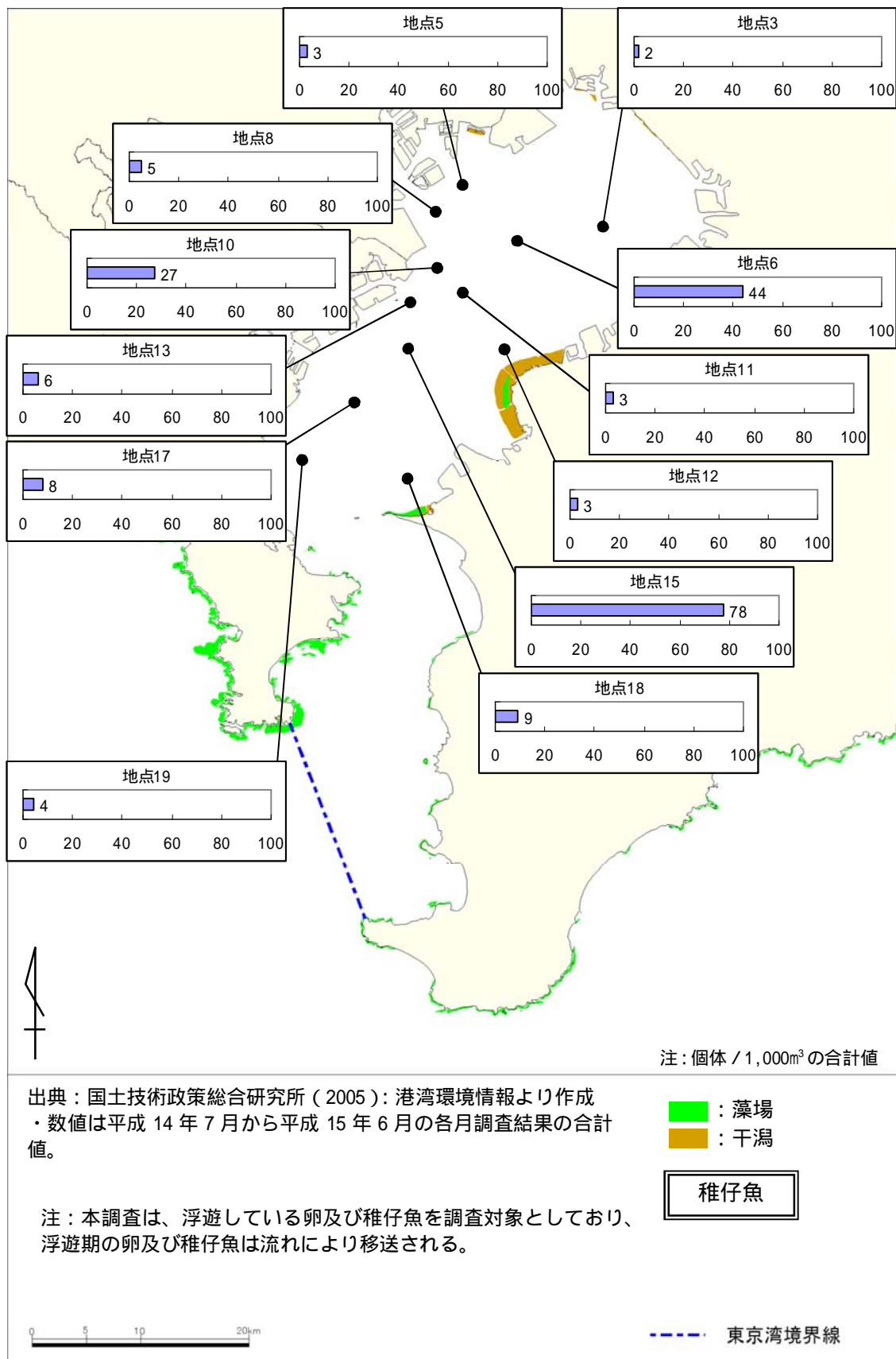
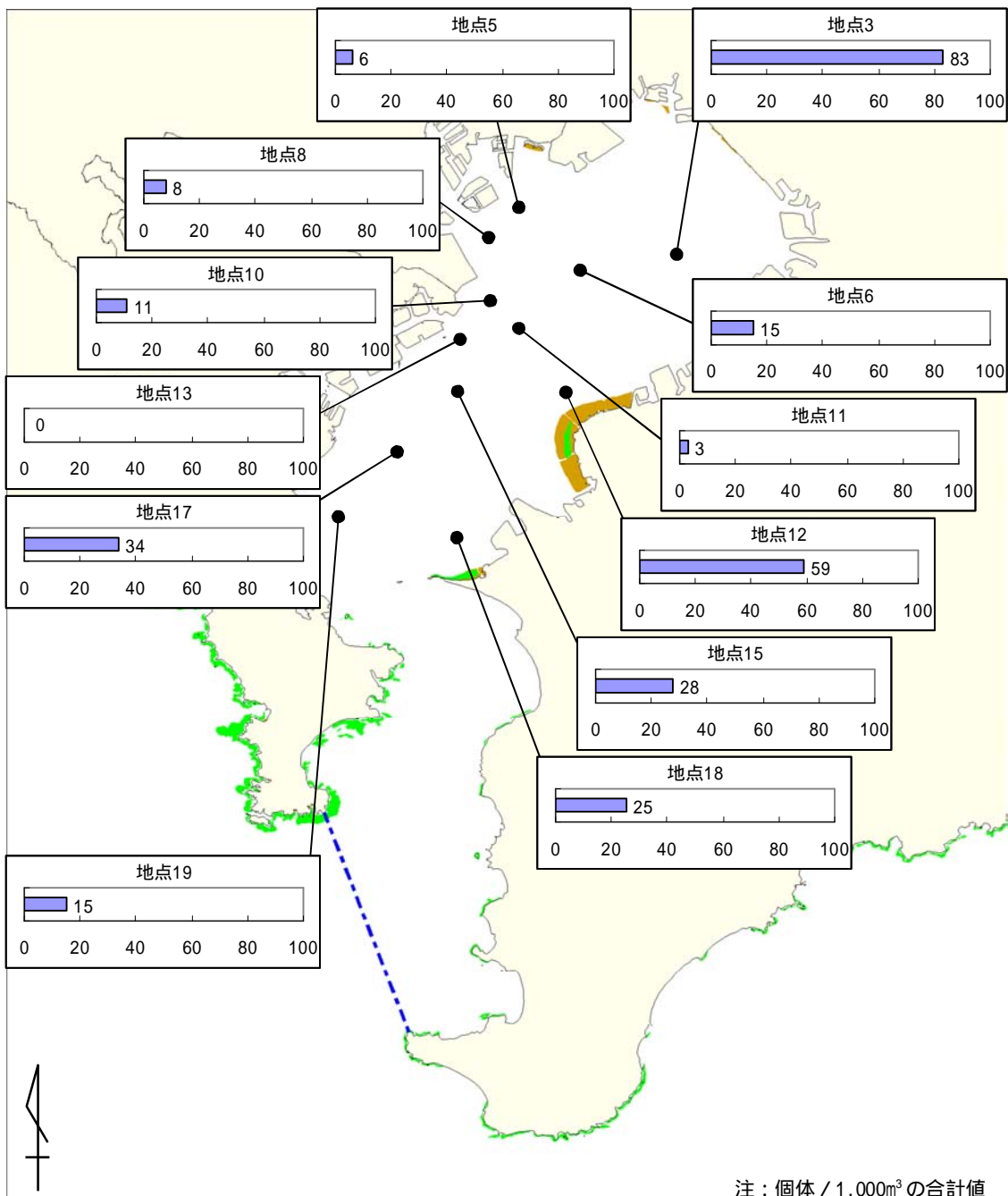


図 10 . 11 (7) 東京湾における地点別魚卵及び稚仔魚出現状況 (スズキ)



注：個体 / 1,000m³ の合計値

出典：国土技術政策総合研究所（2005）：港湾環境情報より作成
 ・数値は平成 14 年 7 月から平成 15 年 6 月の各月調査結果の合計値。

■：藻場
 ■：干潟

稚仔魚

注：本調査は、浮遊している卵及び稚仔魚を調査対象としており、浮遊期の卵及び稚仔魚は流れにより移送される。

0 5 10 20km

--- 東京湾境界線

図 10 . 11 (8) 東京湾における地点別魚卵及び稚仔魚出現状況 (イシガレイ)

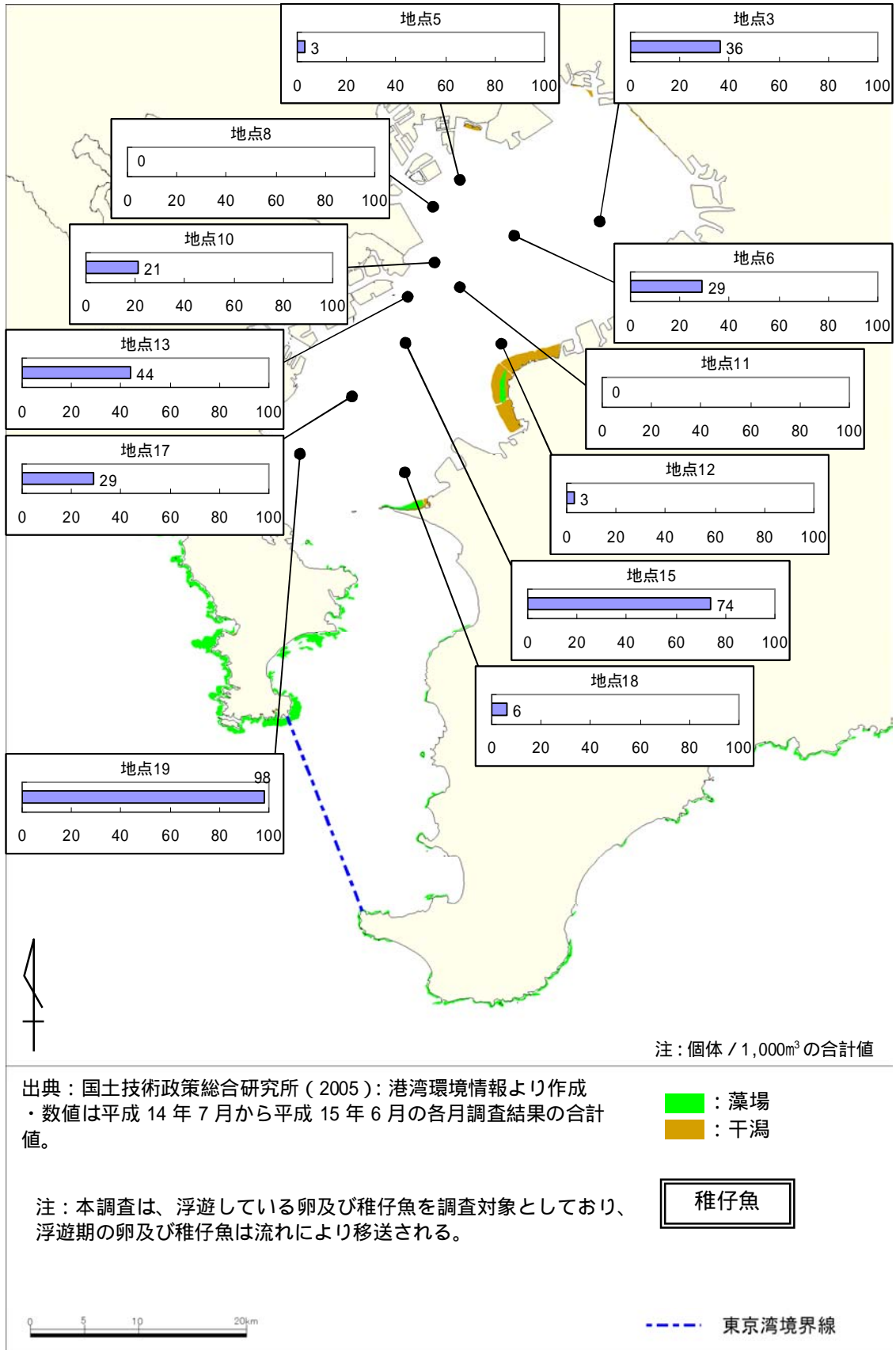


図10.11(9) 東京湾における地点別魚卵及び稚仔魚出現状況（マコガレイ）

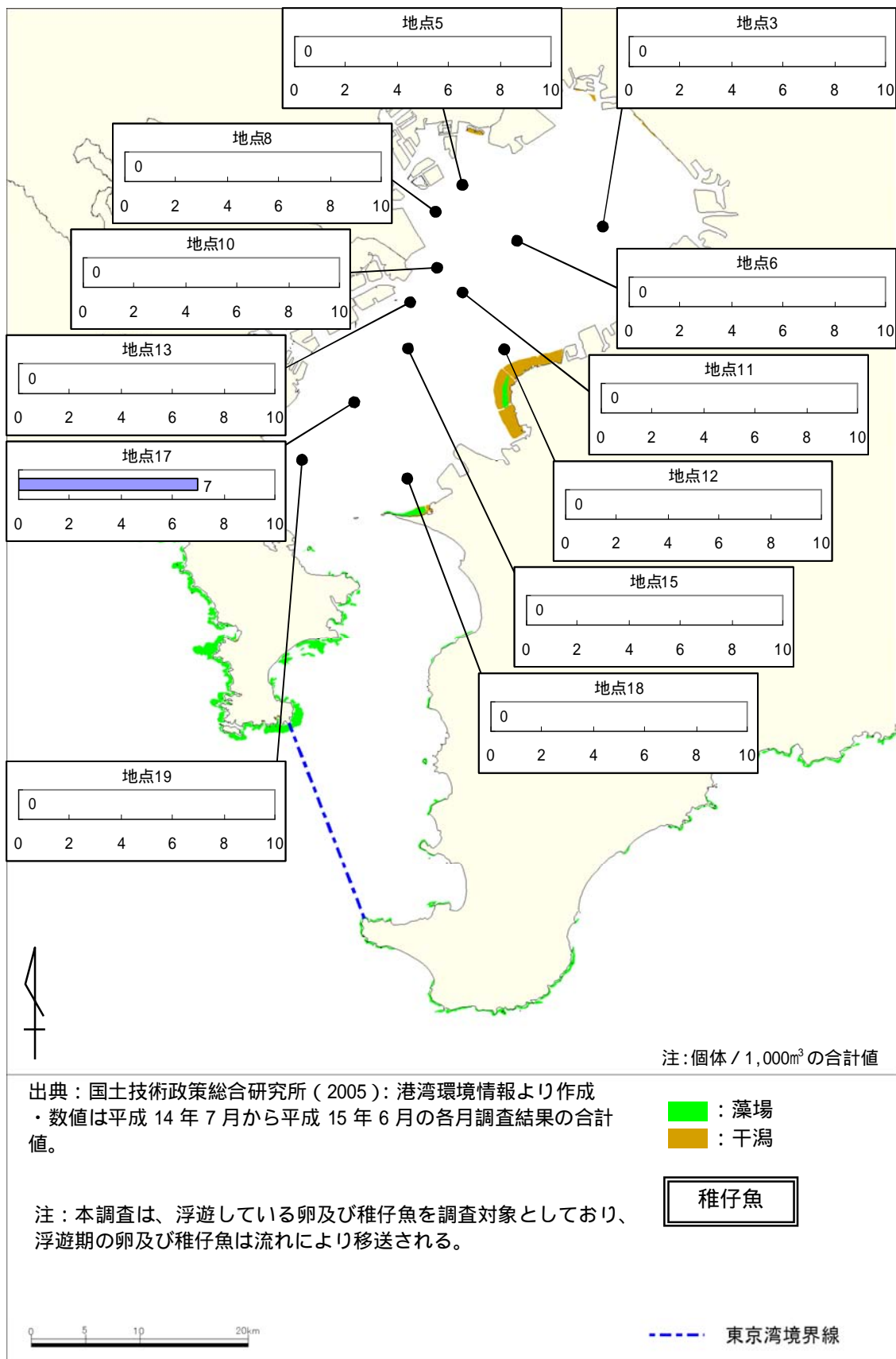
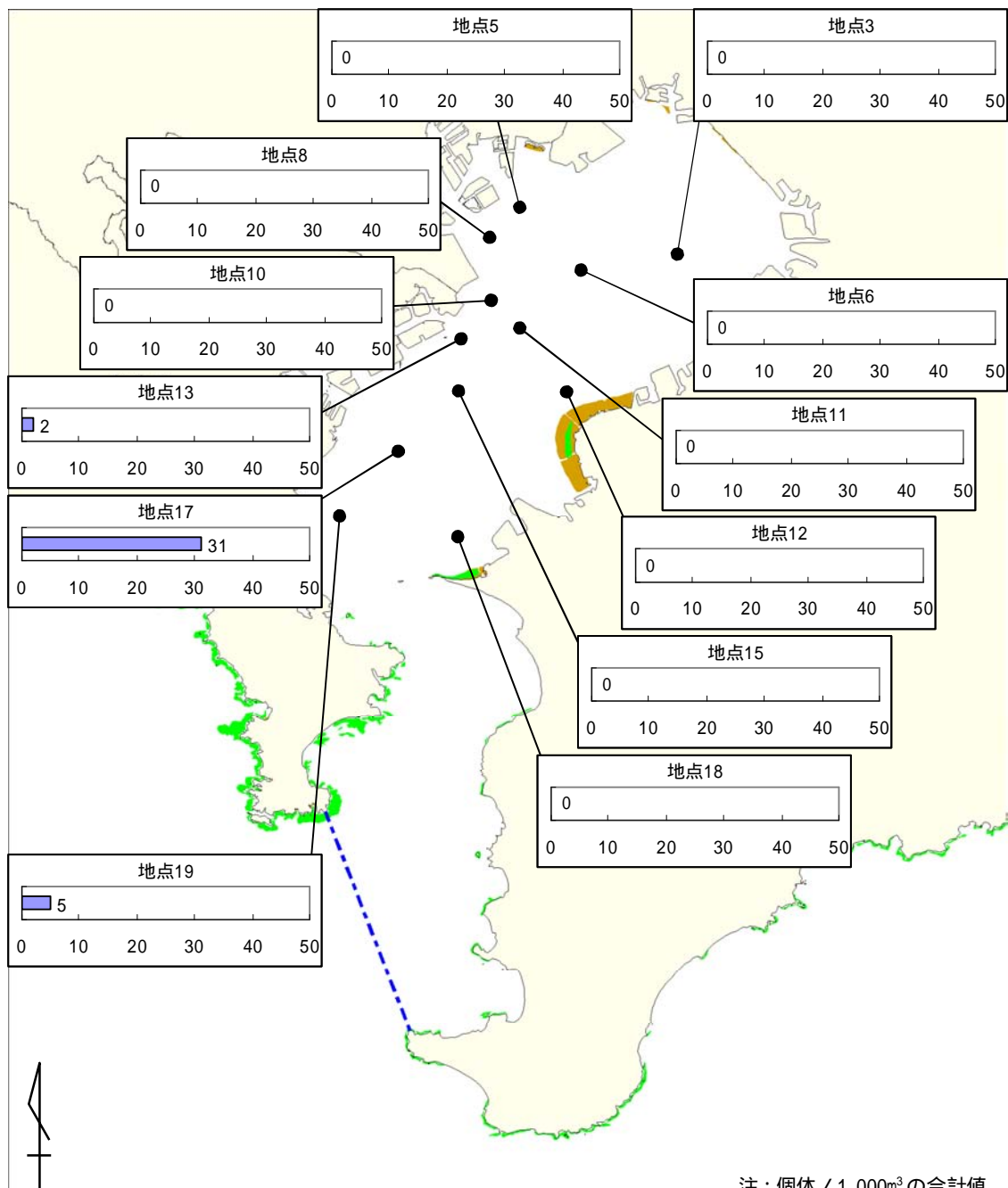


図 10.11(10) 東京湾における地点別魚卵及び稚仔魚出現状況(ヒラメ)



注：個体 / 1,000m³ の合計値

出典：国土技術政策総合研究所（2005）：港湾環境情報より作成
 ・数値は平成 14 年 7 月から平成 15 年 6 月の各月調査結果の合計値。

■：藻場
 ■：干潟

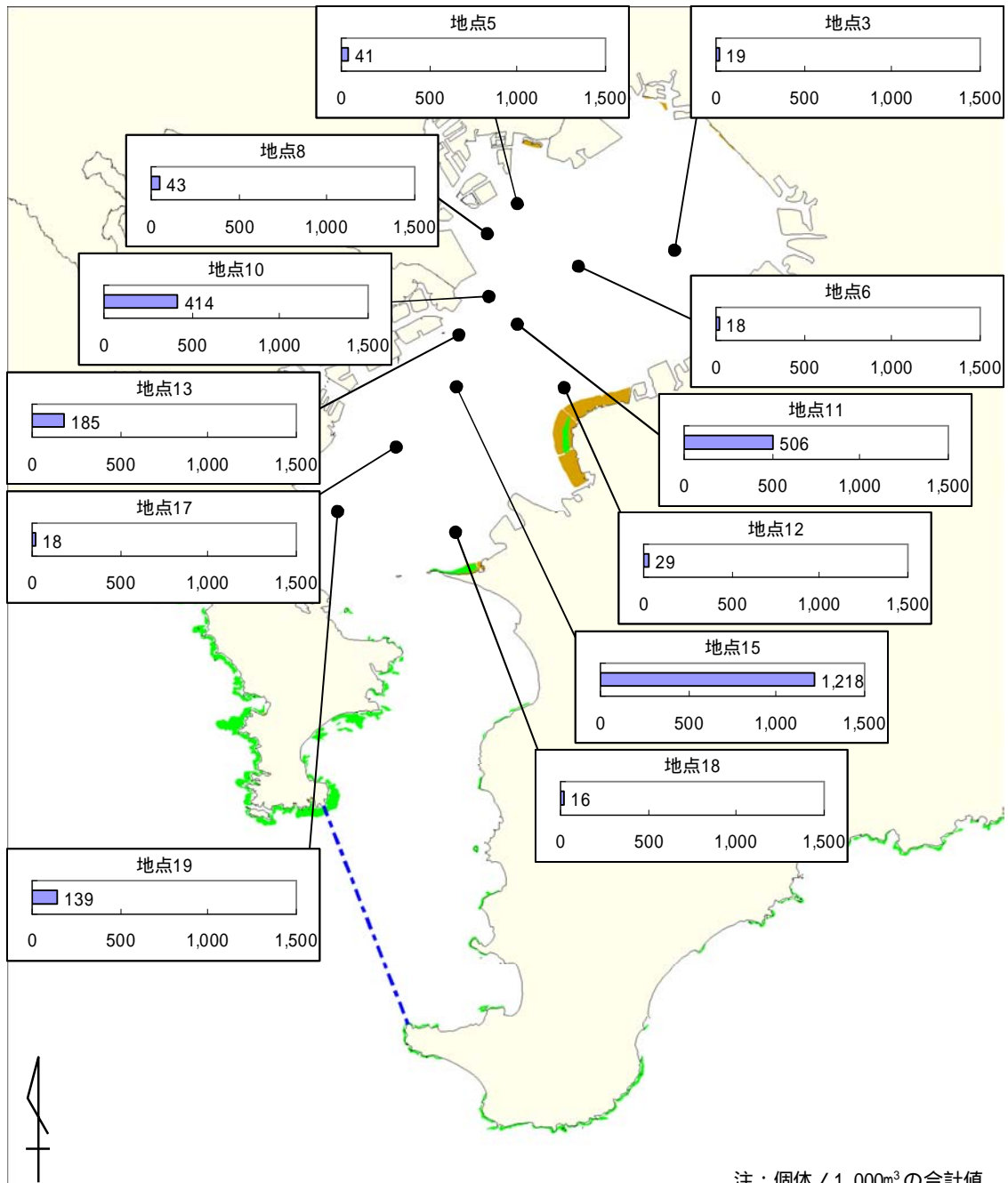
稚仔魚

注：本調査は、浮遊している卵及び稚仔魚を調査対象としており、浮遊期の卵及び稚仔魚は流れにより移送される。

0 5 10 20km

--- 東京湾境界線

図 10.11(11) 東京湾における地点別魚卵及び稚仔魚出現状況 (マダイ)



注：個体 / 1,000m³の合計値

出典：国土技術政策総合研究所（2005）：港湾環境情報より作成
 ・数値は平成14年7月から平成15年6月の各月調査結果の合計値。

■：藻場
 ■：干潟

稚仔魚

注：本調査は、浮遊している卵及び稚仔魚を調査対象としており、浮遊期の卵及び稚仔魚は流れにより移送される。

0 5 10 20km

--- 東京湾境界線

図10.11(12) 東京湾における地点別稚仔魚出現状況（メバル属）

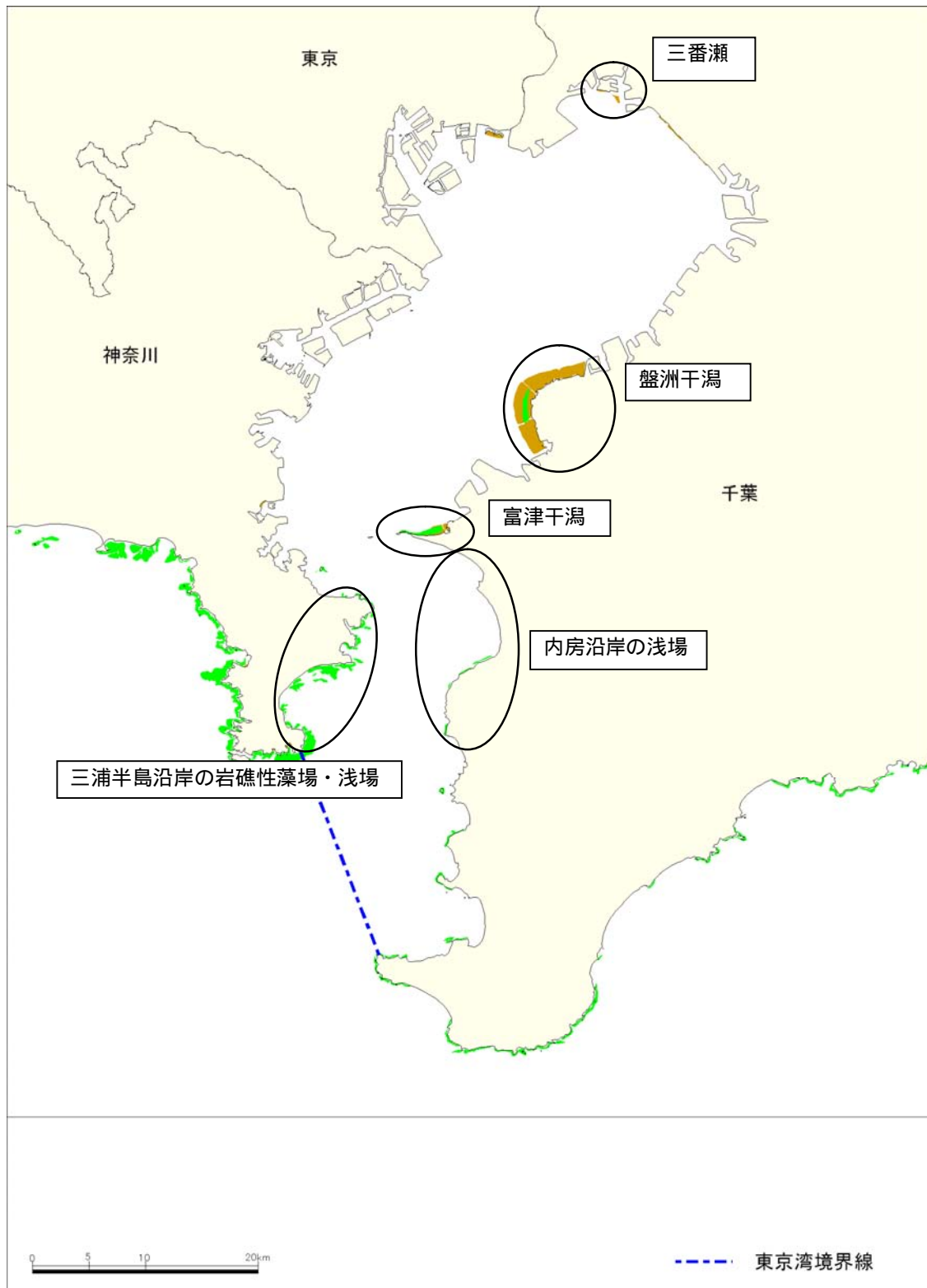


図10.12 東京湾における特別域(案)